



NEWS RELEASE

2026年2月16日

各 位

株式会社福井銀行

第7回ESGファイナンス・アワード・ジャパン「特別賞」の受賞について

株式会社福井銀行（頭取 長谷川 英一）と福井鉄螺株式会社（代表取締役社長 打本純也）は、本日、環境省が主催する「第7回ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の間接金融部門において「特別賞」を受賞しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本受賞は、福井銀行では初の受賞であるとともに、金融機関と事業会社の連名による受賞は本アワードにおいて初の事例であり、金融と産業の連携による地域脱炭素を通じた地域課題解決の新たなモデルとして高く評価されました。

記

1. ESG ファイナンス・アワード・ジャパンの概要

環境省が ESG 金融の普及・拡大とその質の向上を目的として、2019 年度に創設した表彰制度です。環境・社会・経済にインパクトを与える取組みを促進する投資家、金融機関および事業者を対象に、他の模範となる優れた組織や先進的な取組みを評価・表彰しています。



2. 受賞内容

間接金融部門「特別賞」

ESG 要素の考慮による取引先の価値向上や、金融・非金融を通じて、産業の競争力強化や地域循環共生圏の構築等に資するポジティブなインパクトを創出している取組みで、先進性や独自性に優れたものが対象となります。

3. 福井銀行・福井鉄螺協働による取組概要

地域脱炭素の実現に向けて、地域中核企業である福井鉄螺の製造現場における脱炭素化の知見・取組みを、サプライチェーン企業、更には地域内外企業へと広げることを目指し、福井銀行・福井鉄螺が協働して以下の取組みを進めています。

■ サプライチェーン連携によるカーボンニュートラル推進（スコープ3の取組み）

・福井鉄螺における、取引先企業との連携・対話を通じた CO₂ 排出量把握や省エネ施策を深化させる取組みとして、環境省補助事業「企業間連携先進モデル」採択を受け、取引先企業とともに省エネ設備機器導入を進めるプロジェクトを実行。

■カーボンニュートラルに関する対話型の企業間交流

- ・2024年6月より、業種や取引関係を越えて、企業間でカーボンニュートラルに関する先進的な事例や悩みを共有する場づくり・対話に取り組み、カーボンニュートラルへの意識醸成や、地域の他企業・サプライチェーンでの具体的な取組開始に繋がるよう支援。

■地域脱炭素推進モデルとしての横展開・普及

- ・これら協働での取組みが、地域脱炭素推進のモデルとして、地域を越えて横展開・普及していくことを目指し、県内外の企業・自治体に対して積極的に事例の紹介・発信を継続。

4. 受賞理由・評価のポイント

本アワードにおいて、金融機関と事業会社の連名受賞は初のケースであり、以下のように、金融と産業が一体となった地域脱炭素モデルの先進性や独自性、波及性が評価されました。

■ 金融機関と事業会社による実効性の高い連携モデル

- ・地域金融機関と地域中核企業の密接な連携・協働体制により、両者の強み（金融・地域ネットワーク面からの支援と、事業の現場におけるカーボンニュートラルの実践）を活かすことで実効性を高めている。

- ・サプライチェーンでのカーボンニュートラル推進に向けて、企業が具体的な取組みを開始するための仕掛け（サプライチェーンの「要請」ではなく、地域中核企業がハブとなる「対話」を通じた寄り添い活動、対話の場づくり）。

■ 他地域・他サプライチェーンへの展開性・波及性

- ・地域金融機関と地域中核企業との連携であり、他地域においても再現性が高いモデルであること、業種を越えて取組可能なことから、他地域や他サプライチェーンへの横展開・波及性が高く、広域的なインパクト創出に繋がることを期待。

福井銀行と福井鉄螺は、この度の受賞を契機として、金融と産業が一体となった地域脱炭素モデルを更に発展させ、協働企業の拡大や他地域への横展開を通じて、持続可能な地域経済の実現に貢献してまいります。



以上